

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| 久留米工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成31年度 (2019年度) | 授業科目 | 英語1 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 1M07 | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 4 | |
| 開設学科 | 材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む) | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 4 | |
| 教科書/教材 | 教科書: Revised POLESTAR English Communication I (数研出版) / 副教材: ナビゲーションブック (数研出版)、WordTree 3000 英単語・熟語 (文英堂) | | | |
| 担当教員 | 福田 かおる | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 1. 中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を習得する。 2. 日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を習得する。 3. 様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を発展させる。 4. 英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことができる。 | | | | |
| ループリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 文法 | 中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を十分習得する。 | 中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を概ね習得する。 | 中学校で学習した内容を確認しながら、英文を読んだり書いたりするために必要な文法の基礎を習得していない。 | |
| 語彙 | 日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を十分習得する。 | 日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を概ね習得する。 | 日常英語の基礎的な語彙や慣用表現を習得していない。 | |
| 読解 | 様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を十分発展させる。 | 様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を概ね発展させる。 | 様々なテーマの英文を読むことを通じて読解力や思考力を発展させられない。 | |
| 音読 | 英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら上手に英文を読むことができる。 | 英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことが概ねできる。 | 英語の発音上のルール (音節、アクセント、文強勢、イントネーション、リズム、音の変化) に配慮しながら英文を読むことができない。 | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 中学校での学習内容を基礎にして新しい文法事項を系統的に学び、英語の「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能をバランスよく養成する。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 授業は教科書に沿って進める。英和辞典を持参すること。授業の予習・復習および単語帳の例文練習等、学習した記録をノートに残していくこと。ノートは定期的に回収し、採点する。 | | | |
| 注意点 | (1) 点数配分: 定期試験80%、学習ノート20% (2) 評価基準: 60点以上を合格とする。 (3) 再試験を行うが、ノートをきちんと作成し提出した学生を対象とする。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 前期 | 1stQ | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
| | | 1週 | イントロダクション | 授業方法の確認、語学学習の心得等を知る。 |
| | | 2週 | Lesson 1: Washoku—Japanese Food Culture ① 和食と日本の食文化について考える | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 3週 | Lesson 1: Washoku—Japanese Food Culture ② 和食と日本の食文化について考える | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 4週 | 5 文型 /to- 不定詞 (名詞的用法) 一番好きな日本の食べ物について尋ねる | 演習を通じた文法項目の理解、定着。 表現: 好きな食べ物について意見を述べるができる。 |
| | | 5週 | Lesson 2: Different Bottles, Different Names ① 環境「ペットボトル」と「プラスチックボトル」の違いとは | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 6週 | Lesson 2: Different Bottles, Different Names ② 環境「ペットボトル」と「プラスチックボトル」の違いとは | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 7週 | 現在完了形 /to- 不定詞 (形容詞的用法・副詞的用法) / 動名詞 Reading Skills 1辞書を使いこなす 単語をひくときは、品詞と文意を確認する | 演習を通じた文法項目の理解、定着。 辞書の使い方を知る。 |
| | 2ndQ | 8週 | Lesson 3: The Adventures of Ishikawa Naoki 人物・人生 石川直樹氏が冒険家になるまで ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 9週 | Lesson 3: The Adventures of Ishikawa Naoki 人物・人生 石川直樹氏が冒険家になるまで ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 10週 | 関係代名詞 (who, that, which, whose, whom, what) / 分詞の形容詞的用法 * Communication Strategies富士山のゴミ問題について | 文法項目の理解、定着。 自らの意思、意図を説明できる。 |
| | | 11週 | Lesson 4: Bright Stars in a Dark Sky—Tekapo 美しいテカポの夜空を守るために奔走する人たち ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 12週 | Lesson 4: Bright Stars in a Dark Sky—Tekapo 美しいテカポの夜空を守るために奔走する人たち ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |

| | | | | |
|----|------|-----|---|--|
| | | 13週 | It seems that.../seem to do/ 過去完了進行形 / 過去完了形 * Communication Strategies テカボの夜空の世界遺産登録について意見を聞く I can ask for permission. | 文法項目の理解、定着。 許可を求める疑問文を使用することができる。 |
| | | 14週 | Lesson 5: The Story of Amazing Grace 『アメイジング・グレイス』が生まれるまでの意外なエピソード ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 15週 | Lesson 5: The Story of Amazing Grace 『アメイジング・グレイス』が生まれるまでの意外なエピソード ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 16週 | 受動態の完了形 / 関係副詞 (why, when, where) * Communication Strategies ニュートンが『アメイジング・グレイス』を書いた理由について考える | 文法項目の理解、定着。 感謝を述べることができる。 |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | Lesson 6: The Dark Side of Diamonds 高価なダイヤモンドの裏にある紛争とシエラレオネの現状 ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 2週 | Lesson 6: The Dark Side of Diamonds 高価なダイヤモンドの裏にある紛争とシエラレオネの現状 ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 3週 | 現在分詞を用いる分詞構文 /S+V+ 現在分詞 [doing] * Communication Strategies— 映画『ブラッド・ダイヤモンド』について Reading Skills 3文中より例を見つける例示の表現 | 文法項目の理解、定着。 文章中の例示の表現を知る。 |
| | | 4週 | Lesson 7: Ice Cream That Does Not Melt お年寄りのために「溶けないアイスクリーム」を作った大学生たち ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 5週 | Lesson 7: Ice Cream That Does Not Melt お年寄りのために「溶けないアイスクリーム」を作った大学生たち ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 6週 | 分詞を用いた慣用表現 /It is[was] ~ that... (強調構文) * Communication Strategies 進路を決める時期について | 文法項目の理解、定着。 招待の表現を学ぶ。 |
| | | 7週 | Lesson 8: The World of Haiku 世界の中で楽しまれている英語の俳句について ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 8週 | Lesson 8: The World of Haiku 世界の中で楽しまれている英語の俳句について ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | 4thQ | 9週 | 助動詞 + 受動態 / 仮定法過去 * Communication Strategies 英語俳句を書いてみることに | 文法項目の理解、定着。 同委の表現を学ぶ。 |
| | | 10週 | Reading Skills 4時系列をたどって読む 時を表す語句・時制 | 時をあらわす語句・時制に注意して読むことができる。 |
| | | 11週 | Lesson 9: Stephen's Story: A Story That Will Never End 10代でがんを患ったスティーヴン・サットンがやり始めたこと ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 12週 | Lesson 9: Stephen's Story: A Story That Will Never End 10代でがんを患ったスティーヴン・サットンがやり始めたこと ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 13週 | S+V+O+O (why ~, how ~など) / S+V (知覚動詞) +O+C (分詞) /if 節を使わない仮定法過去 * Communication Strategies病気の告知について | 文法項目の理解、定着。 意見に対する反対の表現を学ぶ。 |
| | | 14週 | Lesson 10: Messages from a Trunk アメリカの写真家オダネルが長崎や広島で撮った写真を公開する決心をするまで ① | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 15週 | Lesson 10: Messages from a Trunk アメリカの写真家オダネルが長崎や広島で撮った写真を公開する決心をするまで ② | 英文の理解を通して語彙、文法、発音など基本的な言語情報の習得。 |
| | | 16週 | so ~ that.../ 仮定法過去完了 * Communication Strategies着物を着た子供の写真について Reading Skills 5 トピック・センテンスを探すトピック・センテンスを用いた速読法 | 文法項目の理解、定着。 うれしい、不快などの感情表現を学ぶ。 トピックセンテンスに関する知識を深め、読解に役立てる。 |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
|-------|---------|------|--------------|---|-----|---------------|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 英語 | 英語運用の基礎となる知識 | 聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 | 1 | 前2,前16,後6,後15 |
| | | | | 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 | 1 | 前2,前16,後6,後15 |
| | | | | 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。 | 1 | 前2,前16,後6,後15 |
| | | | | 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 | 1 | 前2,前16,後6,後15 |

| | | | | | | |
|---------|-------|-------|----------------|--|---|------------------|
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 | 1 | 前3,前4,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 | 1 | 前3,前4,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 | 1 | 前6,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 | 1 | 前5,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 | 1 | 前6,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 | 1 | 前5,前16,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力の基礎固め | 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 | 1 | 前16,後3,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 | 1 | 前16,後3,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 | 1 | 前16,後3,後6,後15 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | 英語運用能力向上のための学習 | 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| 分野横断的能力 | 汎用的技能 | 汎用的技能 | 汎用的技能 | 日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | | 他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |
| | | | | 他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。 | 1 | 前16,後6,後15 |
| | | | | 日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。 | 1 | 前16,後6,後15,後16 |

評価割合

| | 試験 | 学習ノート | | | | | 合計 |
|---------|----|-------|---|---|---|---|-----|
| 総合評価割合 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |